

令和7年度 同仁会グループホーム地域連携推進会議

○開催日時：令和8年1月24日13:00～

○開催場所：同仁会グループホーム

○出席者

地域住民代表者：A様(民生委員)

知見を有する方：B様(君津福祉ネット職員)

ご家族様：C様

利用者様：D様

当事業所職員：北 伸二(同仁会グループホーム施設長)

○司会：北伸二

○議事

1. 出席者のご紹介
2. 施設見学
3. 地域連携推進会議の目的について
4. 施設紹介
5. 運営状況
6. 経営状況
7. 利用者について
8. 利用者の権利擁護について
9. 緊急時における訓練等
10. 地域活動について
11. ご要望・ご助言

○地域連携推進会議開催にあたっての守秘義務について

本会議にて知り得た利用者等の個人情報については決して外部に漏らさぬようご配慮をお願い致します。

○議事について

1. 出席者のご紹介

2. 施設見学

3. 地域連携推進会議の目的について

近年、障害福祉サービスを提供する事業者の増加に伴い、支援の質の確保が課題となっています。そのため地域関係者を含む外部の方を含めての会議を行ない、事業運営の透明性を高めていくことを目的としています。当グループホームとしても地域連携推進会議を通し、議事にある項目について様々な立場の方々からの助言や要望をもとに利用者に満足頂ける、より良いサービスの提供を目指していきたいと考えております。

4. 施設紹介

当グループホームでは精神症状の慢性化や家族関係等の理由により精神科病院への長期入院を余儀なくされている方々に対し、必要とされる障害福祉サービスを通して地域での穏やかな生活が維持できるよう協力させて頂いております。当グループホームの強みとして同法人の「木更津病院」が隣接しており内線も通じているため、24 時間いかなる場合でも相談や受診(入院対応を含む)が可能であることです。利用者やその家族からも非常に安心できるとの声が多く聞かれます。

その他設備として

① 自動火災通報装置

センサー(全居室を含めた 17 カ所に設置)が火災を探知すると自動的に消防本部へ通報されます。この装置に関しては年 2 回専門業者により作動確認等の検査を実施しております。尚、スプリンクラーは設置なし(基準上必要なし)。

② 公衆電話

携帯電話を使用していない方のために NTT よりレンタルしています。携帯電話使用者のために Wi-Fi 環境も整えてあります。

③ 防犯カメラ

入居者が安心して生活できるよう屋外に 2 カ所設置しています。24 時間録画保存されており、遡っての再生も可能です。

④ 居室

収納付きベッド、マットレス、防災カーテン、エアコン、照明用リモコンが全居室標準装備となっています。

5. 運営状況

開業は平成 30 年 10 月 1 日～現在。

令和 6 年 7 月 31 日に君津健康福祉センター職員による指定障害福祉サービス事業者等実地調査が実施され、結果として口頭による指導が数点のみで、文書等による指摘及び改善事項はなく、健全な事業運営ができているという調査結果がでています。

[定員]

6 名(女性限定。令和 5 年 6 月より現在まで定員 6 名を維持)

[対応障害種別]

精神障害

[月額利用料金]

- ① 家賃：37,200 円(特定障害者特別給付費別)
- ② 光熱水費：12,000 円(6 か月ごとの清算)
- ③ 日用品費：5,000 円(3 か月ごとの清算)
- ④ 食事代：朝食 240 円 昼食・夕食 280 円

※食事は木更津病院からの配食で 1 か月間に食した数の合計を翌月請求。

[世話人基準]

6：1

[取得加算]

- ① 医療連携体制加算Ⅶ
- ② 夜間支援等体制加算Ⅰ
- ③ 人員配置体制加算(12：1)

[職員]

- ① 施設長(管理者とサービス管理責任者を兼務。常勤)：1 名
- ② 世話人(専従)：2 名
- ③ 世話人・生活支援員兼務：10 名

(労働契約締結者 7 名。夜勤専属アルバイト 5 名(木更津病院看護部職員))

施設長が看護師資格を有し、30 年以上の病棟勤務経験があることを含め、世話人や生活支援員においても木更津病院看護部の OB や現職の看護職員(夜間のアルバイト)が従事されていることにより、障害者に対する知識や経験等の専門性を加味

した質の高いサービス提供を心掛けております。

6. 経営状況

施設長より別途説明

7. 利用者について

障害区分2：3名、区分3：1名、区分4：2名。

年齢54歳～68歳(平均年齢60.7歳)の6名の方が入居されております。利用者の背景として6名中5名の方が精神科病棟への長期入院の経験があります。

全ての方が木更津病院DCもしくはSCに参加されており、うち3名の方が訪問看護ステーション奏でのサービスを受けております。

皆様穏やかな生活を送られていますが精神症状の悪化や休息のため、木更津病院に入院される場合もあります。毎月2回、施設長による健康相談を実施し、健康状態の他、薬や小遣いの管理がきちんとできているか、困っていることや相談したいことがないかなどを伺っております。また月1回スタッフミーティングを開催し、情報の共有に努めております。

8. 利用者の権利擁護

サービス提供にあたり、基本的には利用者の意思決定を尊重し、迷った時や困難な時には的確な支援ができるよう努めております。

身体拘束防止及び虐待防止については特養しおかぜにて開催される定期委員会に施設長が参加しています。職員に対して年1回の研修を実施しております。利用者に対しては虐待防止についての呼びかけをリビングに提示し、相談窓口の設置についても周知して頂いております。

9. 緊急時における訓練

年2回の避難・防災訓練を実施しています。少人数にてスムーズに訓練も終了しています。当グループホームは市の指定する土砂災害・洪水・津波に関する警戒区域となっておりません。もし火災や地震による損壊等により居宅での生活が困難となった場合は木更津病院への緊急受け入れが確保されております。職員についてはBCP(業務継続計画)に基づき、自然災害及び感染症拡大発生時について年に各1回の机上訓練を実施し、緊急事態発生においても速やかに通常業務が再開できるよう体制を整えております。

※R6年3月1日(BCP策定前)に入居者よりコロナ感染者が発生。当時作成中のBCPを基本とした感染対策を実施しました。結果、施設内感染者は利用者1名のみ(不顕

性感染)で集団感染を回避し、速やかに通常業務へと移行できました。

10. 地域活動について

木更津市岩根2丁目町内会「2番の会」に開所時より加入継続。毎月の草取り清掃等に参加しています。その他地域にて開催されるイベント等については利用者の意思決定に委ねている現状です。以前は木更津病院主催による盆踊りや文化祭等、地域を交えての催しに対しては意欲的に参加されていたのですが、コロナ禍以降はそれらが中止となったことに加え、高齢化と感染症罹患への配慮により地域イベント等の参加に関しては消極的となっております。

※R7年10月18日、特養しおかぜ主催の「秋祭り」に短時間参加されました。

11. ご要望・ご質問

A様

「外でタバコが吸えるんですね。火や吸い殻の管理をきちんとして頂きたいです」

北：喫煙者に対してはマナーやルールについて常に周知して頂けるよう健康相談時にて声掛けを継続していきます。

「日中は何人で仕事されてますか？」

北：日・木・祝日は1名(世話人)で、それ以外は2名(世話人と管理者)が勤務しています。夜間帯(遅番・夜間支援帯・早番)については1名での勤務になります。

B様

「DCやSC以外の日はどのように過ごされてますか？」

北：近隣に買い物に出かけたり、リビングでTVや録画番組を鑑賞されたり、数名でゲームをされたり、自室で読書や午睡されたり等、各々が気ままに過ごされております。

C様

「木更津病院が近くにあり、職員も精神科経験者が多くいることで安心して妹を預けられます。平日に病院に連れて行って下さることもあり感謝しています」

北：家族の皆様が安心できるよう今後も努力してまいります。

D様

「私は同仁会グループホームに入居して7年がたちました。長かった病院生活から地域へ移って、今はグループホームで楽しく生活できています。これからも穏やかな生活が続くことを希望します」

北：利用者の皆様が穏やかな生活が送れるよう引き続き取り組んでまいりますので、これからも宜しくお願い致します。

以上